

問 金融機関との連携が不可欠であり、引き続き連携しながらものづくり基盤強化に努めていきたいと考える。

問 ものづくり・商業・サービス補助金等について、積極的に制度活用を図るべきと考える。情報提供をどうするのか見解を伺う。

答 制度の情報提供は、商工会議所、商工会、金融機関に対し説明してきたところであり、今後も応募説明会の機会を捉えて周知していきたいと考える。

児童生徒の登下校の安全対策について

問 通学路の合同点検の状況はどうか。

答 道路管理者、PTA連合会、自治会などで通学路安全推進会議を開いて、協議し改善している。

問 防犯ブザーの活用はどうか。

答 防犯笛を各学校で日常的に指導している。

問 不審者情報発信の効果と課題について、不審者発見数やメール登録数の現状はどうか。

答 不審者情報の発信は、27年度で25件、28年度で26件、29年度で20件。安心安全情報メールで発信している。8259人が登録している。

農業の担い手対策

問 基幹的農業従事者は、定年後の世代60歳以上が78.9%も占めている。就農青年の育成を急ぐべきだ。

答 担い手の確保は十分でない。担い手確保と農地集積に努めたい。

土地改良区の水利施設

問 土地改良区の揚水機場が老朽化している。水田の水利施設について支援すべきだ。

答 土地改良事業を実施する場合、国のガイドラインに準じた市の助成を行う。



老朽化した揚水機場

小規模事業者施設設備等整備補助金の創設を

問 商店や工場が減少を続けている。小規模事業者の店舗、工場等の

新築、改修等を支援する制度を創設してはどうか。

答 中心市街地空き家改修事業等補助金や従業員50人以下の工場について、整備・改修の助成をしている。

しらぎ荘への坂道に安全対策を

問 カーブしている坂道は危険であり、ガードレールを設置すべきだ。

答 必要な部分にはガードレールを設置している。自治会や指定管理者の意見を聞いて対応したい。

避難所の見直し

問 大面地区には吉野屋断層や大龍断層が走っている。鉄筋コンクリートの旧大湯保育所も避難所に指定すべきでないか。

答 旧大湯保育所は電気・水道・ガスがなくなった。災害の際は、小滝、大面、矢田、吉野屋の集会所を一時的な避難場所として開設する。

大崎中学校移転跡地の有効活用について

問 体育館の耐震補強工事の期間と概算費用は。

答 設計施工を含めて1年間くらい。

費用は4000万円程度を考慮している。

問 サッカーワールドカップロシア大会の日本代表選手酒井高徳さんの母校でもある。素晴らしい懸垂幕も出しておられるが、何か記念的なものができないのか。また、体育館、武道場、グラウンド等の名称を公募したらいいのではないか。

答 開設に当たり検討していきたい。名称についても検討していきたい。

問 跡地の活用については、社会福祉法人報徳福祉会が希望しているようだが、法人の性格から、保育所や子育て支援センターのようなものになると思うがどうか。

答 大崎地区に子育て支援センターの設置を検討していきたい。現つくし保育園の移転改築の敷地として貸与してもらいたいという内容で、子育て支援センターを併設する定員180人の保育所を希望されている。

問 体育館は耐震補強後、市民サービスと投票率向上のため投票所に戻すべきでないか。

答 投票率の向上や有権者の利便性が高い場所に投票所を設置することが肝要であることから、旧大崎中学校を投票所とすることも十分視野に入れ検討していきたい。

【常任委員会審査レポート】

各委員会に付託された議案等について、議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。

問 高等教育機関費について、月岡市内の総合運動公園は立派な野球場はできたが、当初国が認定する陸上競技場も建設する計画であったが、結局財政的な理由でできなくなった。こういう歴史、教訓をしっかりと学んで物事を進めていく必要があるのではないか。



問 想定しているブリケットは、サイズが大き



問 施設方針等で述べている産業として成り立つ農業として、この2件をどう見ているのか。

答 それぞれ意向、志向を



総務文教常任委員会 野崎久雄 委員長

ふるさと三条応援寄付金減少原因の詳細について究明中

議第9号 平成30年度 三条市一般会計補正予算

問 ふるさと三条応援寄付金について、昨年度と比べて約1000万円の減少の原因をどう分析しているのか。

答 総務省の通知で返礼品割合を3割以下とするよう通知が出たことを受け、3割以下に変更する市町村に対し駆け込みの寄付がなされたこと、また平成29年度に返礼品の贈呈を新規に始めた市町村の寄付金額が増えている傾向があるなど、さまざまな要因があり、現在詳細について究明している。

付託された議案のうち、議第3号および議第11号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

市民福祉常任委員会 小林 誠 委員長

剪定枝やもみ殻等を燃料として活用するシステムの構築に向け調査

議第9号 平成30年度 三条市一般会計補正予算

問 制度改正のために、多量に数百万円ものシステム改修費が必要になるのはあまりに非効率ではないか。

答 全庁的に使用しているシステム全体の入れ替えには多大な経費を要するため、その都度必要なる部分を改修するのが現実的と考えている。

付託された全議案について、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

経済建設常任委員会 山田富義 委員長

新除雪車は市街地の道路拡幅のために使用

議第9号 平成30年度 三条市一般会計補正予算

問 今冬の大雪で44棟の農業用ハウスが倒壊した一方、その再建に係る費用補助の申請者は2人であるが、説明会は開いたのか。

答 3月下旬に農家へ周知し、4月4日に説明会を行った。

問 申請が2人にとどまったのは、申請を諦めた方がいたからか。補助対象にならない方に対する救済措置はないのか。

答 農家にヒアリングを行い、今後の付加価値額や経営面積の拡大を考慮しつつ補助要件に合致するかどうか確認した結果、2人の申請となった。意欲的な農業者が国や県の他の事業を活用する場合は、支援を検討したい。

付託された全議案について、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。